

ボール どれくらい飛んだ？



測量機器をのぞく子どもたち—精華町

精華の小学校で測量体験

6月3日の「測量の日」を前に、測量の意義や役割について知ってもらう測量体験学習が28日、精華町の山田荘小学校であった。6年生48人が参加した。

子どもたちは体育館でドッジボールを投げ、落ちた位置まで歩き、歩幅から飛距離を推測。府測量設計業協会のメンバー

が測量機器で実際の距離を測り、子どもたちが誤差を調べた。国土地理院近畿地方測量部による講演もあり、2019年にできた「自然災害伝承碑」の地図記号などについて学んだ。

このイベントは協会が毎年、府内の小学校で実施している。

(北川学)